

第九週

本校校舎 大型の箱を利用してよし、又厚紙で拵へてもよし。窓は切り開くのもあつていゝであらうし、又閉ぢてある所(薄ねすみ色の模造紙を長形に切つて貼る)があつてもいゝであらう。時々みんな本校校舎を正面から見直しては製作する。建物が大きく、したがつて窓の数も多く、裝飾等もあるので、丹念にみんなで代るゝ作らねば飽きる。

床に道路線を區劃する

今まで出来かゝつた家、出来上つた建物等、夫々の位置に配置はしてあつたが、まだはつきりした道路線が區劃されてゐなかつたから、この週あたりで線路、車道、人道、等區劃する。毎日通つてはゐながらも、いざ描かうとするこゝはつきり分つてゐる人が少いので、

又改めて門まで出て、みんなも一度見直す必要もあるであらう。鉛筆で下書して、その上を黒でなすらせる。

床に、ぢかに墨で描くのではなしに、大判のハトロ紙を更に數枚貼り合せて保育室半分位の大きさにして敷き、この上に家を並べるのである。又床ではあまり低過ぎるこゝ云ふ時には、保育室の半分に机をすつこ並べ、その上にハトロ紙を敷き、家々を並べてもいい。この案は場所が要るので幼稚園に依つては、適不適があるかも知れない。全體の大きさをすつこ縮少して試みられなければならないかも知れない。寒くなつて室内遊びが盛になり、保育室が一ぱいに使はねばならぬ季節には不適當と思つたので、こんな事も今學期に立案した原因の一つでもある。

背景を黑板に描く、背景をこ言ふ目的をよく言ひ合めた

にしても、子供達相互の描く繪であるから、傍を離れずに見てゐて、添削も必要であらうし、助言も、實際の手傳も與へなければならぬ。出來上つた後の子供達の悦びも亦格別である。

第十週

幼稚園々舎 やはり協同で、丹念に。交叉點、シグナル 男の子等格別の興味を持つ。數人引率して、間近の仲町交叉點を見に行く。シグナルの製作には先生よりも男の兒の方が新案を發明する事が多い。

第十一週

護國寺 中まで細々拵へるのは、少し込み入り過ぎるので、あの門を、中のセイジ色の屋根の工合等を大ざつぱりに製作する、若し時間があつたらみんなで一日遊びに行つて、燈籠を段々境内の大きなものをボック／＼附加するのもよろしからう。

大塚驛 これは、この驛を通る數人の子で製作しやう。日に毎に觀察が深められ、議論が交される事であらう。併し

切符賣場、改札所等子供等の興味の焦點にあるので潑刺として製作をつゞける。

第十二週

省線電車 小型空箱に菱形のボール、車をつけ、窓を貼つて作られる。

大塚ガード、ガードたらしめる爲に、その兩側の高所、勾配等に特別の工夫を凝さねばならぬ。

今までも夫々に配置はしてあつたが、完成の上は、幼兒連と共に改めて吟味、配置をしやう。

完成したことは自分達だけでもこの上もなく嬉しい事ではあるが、尙ほ幼稚園の各室にもご案内して見て頂く、子供達の悦びは尙ほ一層満足する。かくして、出來上つたら、しばらくの間このまゝにしておく。